

自動車安全技術プロジェクトチームについて

1 プロジェクトチーム（PT）の概要

○ 平成25年6月設置

○ 設置趣旨

交通事故の抑止及び交通事故死者数全国ワースト1位の返上を目指し、交通安全対策の取組の一つとして、産学行政の連携の下、自動車安全技術に係る調査や研究開発・実証実験、及びその支援に取り組む。

○ 活動内容

- ・ 自動車安全に係る研究開発等の現状と課題に関する調査
- ・ 自動車安全に係る研究開発・実証実験の実施
- ・ 自動車安全に係る技術開発等に資する研究開発・実証実験への支援の検討及び実施

○ 構成メンバー

| | |
|---------------|--|
| 民間企業 | アイシン精機(株)、(株)アドヴィックス、 オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株)、 (株)デンソー、トヨタ自動車(株)、三菱自動車工業(株) (50音順) |
| 大学 | 愛知県立大学、名古屋大学 (50音順) |
| 行政 (愛知県以外) | 国土交通省中部運輸局自動車技術安全部技術課長、 豊田市都市整備部交通政策課長 (50音順) |
| 行政 (愛知県) | 【リーダー】産業労働部長 【副リーダー】地域振興部次長、県民生活部地域安全監 地域振興部交通対策課長、県民生活部地域安全課長、 産業労働部産業振興課長、同産業科学技術課長、 建設部道路維持課長、警察本部交通部交通総務課長 |

2 昨年度の主な取組

- (1) P T会議の設置・開催（6月設置、3回）
- (2) プローブ情報活用ワーキンググループ（WG）の設置・開催（7月設置、5回）
プローブ情報^{*}の交通安全対策への活用を検討。
^{*} 実際に車が走行した位置や車速などの情報を用いて生成された道路交通情報
 - メンバー
トヨタ自動車(株)、県警本部、愛知県
 - 取組内容
 - ・ プローブ情報のうち、事故発生箇所とある程度相関関係がみられたABSを選定し、動作発生の多い箇所を抽出。
 - ・ 上記から「事故の発生が予測される箇所（8箇所）」を特定し、現地調査を実施後、対策を策定。
- (3) その他
 - 安全技術搭載自動車に係る体験試乗会の実施

3 今年度の主な取組（予定）

- (1) P T会議の開催（2回）
- (2) プローブ情報活用WGの開催（通年）
- (3) 事故分析WGの設置・開催（5月設置・通年）
本県の交通事故分析に基づき、自動車安全技術の開発支援、普及活動について検討。
 - メンバー
トヨタ自動車(株)・三菱自動車工業(株)など5社、県警本部、愛知県
- (4) その他
 - 公道走行試験の支援
 - 中堅・中小企業の展示会への出展の支援
 - 大学・中小企業等による研究会の開催
 - 安全技術搭載自動車に係る講習会及び体験試乗会の実施